

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第40週の発生動向

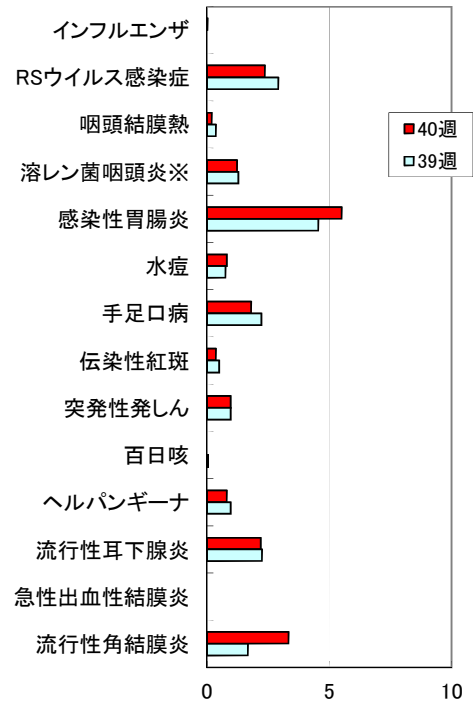
定点医療機関からの報告総数は607人(定点あたり19.9)で、前週比105%とやや増加した。

前週に比べ増加した疾患は感染性胃腸炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

感染性胃腸炎の報告数は198人(5.5)で前週比121%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(5.9)の約9割である。小林(23.0)・都城(7.7)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月~2歳で全体の約半数を占めた。

マイコプラズマ肺炎2人が延岡保健所から報告された。患者は8歳の女兒と11ヶ月の女兒で病原体は*Mycoplasma pneumoniae*であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
感染性胃腸炎	20	5.5	小林(23.0)	6ヶ月~2歳で全体の約半数を占めた。

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患	保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし	高鍋	なし
都城	なし	高千穂	なし
延岡	なし	日向	なし
日南	なし	中央	なし
小林	感染性胃腸炎 (23.0)		

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例が宮崎市 (3 例)、日南 (1 例) 保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・60 歳代の男性で肺結核。  
 ・70 歳代の男性でその他の結核 (結核性胸膜炎)。胸痛がみられた。  
 ・80 歳代の男性でその他の結核 (粟粒結核)。発熱、呼吸困難がみられた。  
 《日南保健所》・70 歳代の女性で肺結核。咳、発熱、呼吸困難がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 2 例が高鍋保健所から報告された。  
 ・10 歳の男子で腹痛、水様性下痢、発熱がみられた。原因菌は O26 (VT1 産生)。  
 ・70 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は O26 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○ウイルス性肝炎 (B 型) 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の女性で全身倦怠感、嘔吐、褐色尿、肝機能異常、黄疸がみられた。

## ■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

### □ 細菌 (平成 23 年 9 月 22 日～平成 23 年 10 月 11 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Campylobacter fetus</i>	20代後半	女	2010.9.23	発熱、下痢	血液	2011.9.22
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	不明	男	2011.9.21		便	2011.9.28
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	0～4	男	2011.9.22		便	2011.9.29
腸管病原性大腸菌(O26:H11 eae+)	0～4	男	2011.9.21	下痢	便	2011.10.3
腸管出血性大腸菌(O145:HNM VT1,2)	60代前半	女	2011.9.25	下痢、血便	便	2011.10.11
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4	女	2011.9.26	発熱(39.0℃)、下痢、血便	便	2011.10.4

○下痢症状を呈した乳幼児から、腸管病原性大腸菌 (EPEC) O26 が検出された。EPEC は粘膜上皮細胞へ付着した後、微絨毛を破壊して下痢症を誘導する attaching and effacing lesions (A/E 傷害) と呼ばれる特徴的な病変を引き起こす。

○下痢・血便が見られた60代前半の女性から、腸管出血性大腸菌 O145 (VT1,2) が分離された。2000 年～2009 年にかけての国内統計によると、O145 は7番目に検出数の多い EHEC である。VT 型別累計では、VT1 のみ陽性が約68%、VT2 のみ陽性は約28%、VT1 と VT2 の両方も陽性は4%程度である。

### □ ウイルス

報告なし。

## ■ 全国第 39 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 11.3 で、前週比 112%と増加した。今週増加した主な疾患は伝染性紅斑と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

伝染性紅斑の報告数は 649 人 (0.21) で、前週比 162%と増加した。島根県 (0.65)、徳島県 (0.57)、高知県 (0.53) からの報告が多く、年齢別では 3~6 歳が全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,516 人 (0.80) で、前週比 154%と増加した。福井県 (2.1)、石川県・大分県 (各 1.4)、山口県・宮崎県 (各 1.3) からの報告が多く、年齢別では 4~7 歳が全体の約半数を占めた。

### □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 392 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 7 例、腸管出血性大腸菌感染症 61 例、腸チフス 2 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 1 例、チクングニア熱 1 例、つつが虫病 3 例、デング熱 6 例、日本紅斑熱 5 例、日本脳炎 1 例、マラリア 5 例、レジオネラ症 15 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 13 例、ウイルス性肝炎 5 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、後天性免疫不全症候群 15 例、梅毒 12 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風しん 3 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第40週(10月03日～10月09日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1									1
	定点あたり	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	105	85	26	8	17	5	1	3		24	1
	定点あたり	2.92	2.36	2.60	1.33	4.25	1.67	0.33	0.75	0.00	6.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	13	7	2		1	3				1	
	定点あたり	0.36	0.19	0.20	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	44	13	2	9	7	1			6	6
	定点あたり	1.28	1.22	1.30	0.33	2.25	2.33	0.33	0.00	0.00	1.50	6.00
感染性胃腸炎	報告数	164	198	18	46	12	10	69	14	6	16	7
	定点あたり	4.56	5.50	1.80	7.67	3.00	3.33	23.00	3.50	6.00	4.00	7.00
水痘	報告数	27	29	9	9	2	1	3	2		3	
	定点あたり	0.75	0.81	0.90	1.50	0.50	0.33	1.00	0.50	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	80	65	14	29		5	10	2		1	4
	定点あたり	2.22	1.81	1.40	4.83	0.00	1.67	3.33	0.50	0.00	0.25	4.00
伝染性紅斑	報告数	18	13	4		4					5	
	定点あたり	0.50	0.36	0.40	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	35	35	10	8	8	1		3		3	2
	定点あたり	0.97	0.97	1.00	1.33	2.00	0.33	0.00	0.75	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	35	29	3	1	10	2				13	
	定点あたり	0.97	0.81	0.30	0.17	2.50	0.67	0.00	0.00	0.00	3.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	81	79	34	17		9	1	11	3		4
	定点あたり	2.25	2.19	3.40	2.83	0.00	3.00	0.33	2.75	3.00	0.00	4.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	20	12	5	3						
	定点あたり	1.67	3.33	4.00	2.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	2			2						
	定点あたり	0.29	0.29	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～40週)

2類感染症	結核	209例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	54例(2)				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	1例	レプトスピラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	4例(1)	急性脳炎	5例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	10例
	梅毒	7例	破傷風	8例	風しん	1例
	麻しん	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～40週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲